



第5弾

ありたい姿 探検記



お問い合わせ
政策推進課
☎ 4-2511 内線 234
☆ 4-2511 02
Fax 4-2517

前回のおさらい
「ありたい姿」誕生秘話
・13回以上の会議で半年に渡って議論し策定された
・色々な年代、立場の町民の声が入った将来像
・女性の声が「小さい」という気づきからの女子会結成
↓今後も努力目標
・目標7…子どもや未来世代
↓共育ビジョンの流れはここから始まった

ありたい姿と町の関係

今までの「森林と人が輝くまち」といった強みを生かしつつ、弱点も明らかにして底上げできるよう「2030年における下川町のありたい姿」は、長所を伸ばし、短所を埋められるよ

再生可能エネルギー導入促進ロードマップ



目標3「人も資源もお金も循環・持続するまち」と、目標6「世界から目標とされるまち」を実現する道筋として再生可能エネルギーの導入を促進するためのロードマップを策定しました。バイオマスや林業等これまでの町の取組を基盤に、食材や木材、エネルギーなどを地産地消(※)し、持続可能な地域社会を実現していくことを目指しています。まずは省エネ対策を行います。現在と未来の町民にとって良いバランスで再エネ展開への実施を目指していきます。



しもかわの「ここ」がすごい！

しもかわSDGsレポート2018

下川町のまちづくりへの注目度が高まっています。ありたい姿の策定までをまとめたレポートを2018年に発表して以来、国連ハイレベル政治フォーラム等の国際会議への登壇機会が増えてきました。レポート第2弾は町民の活動を中心にまとめ、皆さんにとってより良い暮らしを目指していきます。



下川町のSDGsレポート



下川町の詳細は公式noteへ

※地産地消…消費する物は自分たちで生み出すことを目指し、地域外に流出しているお金を地域内循環させ、新たな産業や雇用を生み出し、外部に頼りすぎないこと。

数か月かけて、下川町がSDGsをありたい姿に位置づけ、活用している話をしてきました。今後は、下川町で行われているSDGsの活動や、世界や国等の動向についてご紹介していきます。

ありたい姿を実現するために

下川町はありたい姿のそれぞれの目標を実行していくためのビジョンを策定し、それに基づいたまちづくりをしています。今回は2つ、ご紹介します。

地域共育ビジョン



ありたい姿の策定の際、目標7「子どもたちの笑顔と未来世代の幸せを育むまち」への町民の関心がとても強いことがわかりまし



た。そのため、目標7に特化した「子どもが誰ひとり取り残されず、全体が大きな家のような共育のまち」の実現を目指す「地域共育ビジョン」を町民と教育に携わる人たちがPTAと一緒に議論し策定しました。今年度からは具体的な取り組みを進めていきます。詳しくは、広報の「共育にゆーす」に掲載されるほか、下川町公式noteでも紹介していますので、ご覧ください。

「ありたい姿」掲示板

ハイレベル政治フォーラム(略:HLPF)とは？

HLPFは国連が毎年開催する国際会議で、SDGsを含む「2030アジェンダ」の進捗報告が目的です。今年のテーマは簡単に言えば、「アフターコロナはより一層社会・環境・経済の3側面で足止めをされたコロナ禍の時間を挽回しましょう！」で、日本も2回目のSDGsレポートを提出しました。各国政府や首脳以外にも、企業、自治体、研究機関、先住民、市民団体、女性、子ども、あらゆる立場の人が集まるため、世界に声を届け、目指す将来に変革するという重要な意味があります。今年は下川町が大都市以外で唯一登壇者に選ばれました。

